令和　　　年度　　　　　 　 学 校 名　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　　 天候

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　測定日時　令和 　 年 　月 　日（ ）　　 　　　測定時間 時　 分～　 時 　分

測定場所　　　 年　　 組　　 　　教室　　　　　　　授業

測定者　職名　　　　　氏名　　　 　　　　　　人数　大人　　　　小人

**第１票　換気及び保温等定期及び臨時検査票**

**換気及び保温等**

**□ 定期**

**□ 臨時**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校長 |  | 学校薬剤師 |  | 保健主事 |  | 養護教諭 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 冷暖房機・空気調和設備の種類（　）内は必要な検査項目NO. | * エアコン(1,2,3,6,7)　□　石油（ガス）ファンヒーター(1,2,3,4,5,6,7,)　□　石油（ガス）ストーブ　(1,2,3,4,5)
* 電気ストーブ(1,2,3)　　□　床暖房(1,2,3)　　□　その他（　　　　　　　　）　　□　設備なし（1,2,3）
 |
|  | 外　　気 | 開始時（　　：　　） | 　　分後（　　：　　） | 終了直前（　　：　　） | 測定基準 |
| 1温　　度 | ℃  | ℃  | ℃  | ℃  | 18℃以上28℃以下であることが望ましい |
| 2相対湿度 |  | ％  | ％  | ％  | 30％以上80％以下であることが望ましい |
| 3二酸化炭素（CO2） | ppm％ |  ppm％  | ppm％ | ppm％ | 1500ppm以下であることが望ましい（%表示：0.15％以下であることが望ましい） |
| 燃焼機器使用時 | 4一酸化炭素(CO） |  | ppm | ppm | ppm | 6ppm以下であること |
| 5二酸化窒素(NO2) |  | ppm |  | 0.06ppm以下であることが望ましい |
| 冷暖房機空気調和設備使用 | 6浮遊粉じん |  | 　　 　　 mg/㎥ | mg/㎥ | mg/㎥ | 0.10mg/㎥以下であること |
| 7気　　流 |  | m/秒 | m/秒 | m/秒 | 0.5m/秒以下であることが望ましい |
| 測定機器 | 温度・相対湿度：　 | CO2： | CO： | NO2： | 浮遊粉じん： | 気流： |
| 指導助言事項 |  |

注1）測定時換気の状況は、裏面の図に記入2）二酸化炭素は授業終了直前の結果で評価　3）浮遊粉じんを省略する場合は「省略」と記入

（令和7年4月1日改訂）

4）測定不要（適用外）の項目は斜線を引く

**記入事項**

開放箇所

**×**　測定地点

エアコン

ストーブ

ﾌｧﾝﾋｰﾀｰ

扇風機

換気扇

加湿器

